

## 特別分科会① 共催：JACUAP大学 アドミッション専門職協会

### 大学入試におけるリスクマネジメント

〔報告者〕 木村 拓也（九州大学 人間環境学研究院 教育学部門 教授）

〔コーディネーター〕 山本 以和子（大学コンソーシアム京都 高大連携推進室員/  
京都工芸繊維大学 工芸科学部 教授）

技術革新や社会変化に伴う教育の方向性や手法が変容している。当然、入試やその周辺業務もそれらに足並みをそろえ、実践と開発を展望した動きに各大学が応じている。新たな入試の堅実な実施や計画を開発するために、複雑、拡大する入試におけるリスクを棚卸し、対応する知識の獲得を目指す。

#### 概 略

現在の大学入学者選抜は、早期化と長期化ならびに多種多様な入試方法を実施する状況となっている。特に、後期からは、広報展開、出願受付、入試実施、合否から入学手続き業務が目まぐるしく展開し、立ち止まる間がなく次の業務へ移っていく状態である。入学者選抜は学内だけでなく、学外の関係各位、大きくは社会までが関わる注目度の高いテーマである。その分、大学にとっては、そのリスクマネジメントは重要課題であり、常に留意し、未然に発生を防ぐ意識と手だてを講じなければならない。本特別分科会①【高大接続】では、入試ミスの基礎知識やますます大学入試の業務負荷が増える状況においてどのようなリスクが発生し、そのリスクを低下させる方策について木村拓也氏より「大学入試におけるリスクマネジメント」としてお話いただいた。その後、来場者とともに、「大学入試のリスク事例とその理解」として、大学入試のリスク事例と解決策についてのグループワークを実施し、特に気づきになる点を発表し合い、グループワークで作成した手記を記録した。

#### 到達点と今後の課題

多くの大学が年内入試の実施日や業務がハイタイム期間での開催だったので、参加者は例外的な少なさとなった。参加ができなかった方から「参加できなくて本当に残念」という多くの声をいただいた。今回テーマの重要性は感じて、参加を望んでいる方々のためにもこのテーマの深掘りとともに、次の開催を検討したい。

それでも、今回は参加者だけでなく、参加できなかった方からも、入試リスクについての事例と解決策を寄せていただき、それらを入試広報 出願受付処理 試験準備 作題・採点 試験実施 合否判定 合格発表手続きに分類し、集約できた。こちらを今後も推進し、入試リスクの参考資料として今後もブラッシュアップしていきたいと考えている。

また、今回は大学での入試担当者のみを参加可能にした。入試ミスは非常にセンシティブなテ

マなだけに、まずは大学側で目線合わせをし、その後高大の連携で入試に係るリスク対応にともに取り組む機会を創出したい。高校・大学の別々の視野ではなく、双方の視界から見える状況を共有し、よりよい入学者選抜の業務につなげていきたい。

入試リスクをテーマとした1回目では、以上のような課題であったが、入試関係を担う人材としては、避けては通れないテーマなだけに、次回以降も効果の向上を目指して会を展開していきたいと考えている。

